整 備 効 果 ❸

災害に強く信頼性の高い道路ネットワークを確保

秋田・山形県境沿岸部の主要幹線道路は国道７号しか存在しないため、寸断時には多大な迂回が強いられます。

日沿道の整備により、広域迂回のリスクが解消されるとともに、国道７号と高速道路のダブルネットワークが確保され、災害に強い道路網を形成します。

▼国道7号事故発生状況
（にかほ市象潟町）

▼国道7号事故発生状況
（遊佐町吹浦地区）

※現道課題については、
２箇所、２件以上の場合
該当数を併記
出典：令和３年全国道路・
街路交通情勢調査
（昼間１２ｈ平均）

▼由利本荘市～酒田市間の迂回例

整 備 効 果 ❹

エリア間の繋がりが強化されジオパークの魅力向上

秋田県にかほ市・由利本荘市、山形県酒田市・遊佐町では、鳥海山・飛島ジオパーク（平成２８年９月９日認定、令和３年２月５日再認定）を活用した観光振興を目指しています。

日沿道の整備により、空港や港と接続され、ジオパークへのアクセス性向上、エリア間の連携強化、パーク内周遊の利便性向上による観光振興が期待されます。

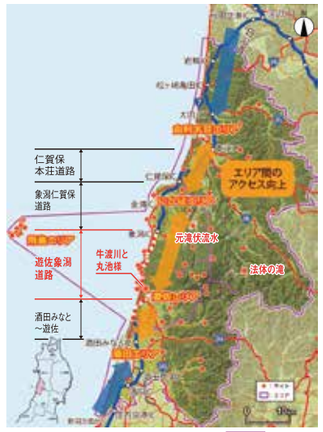
▼代表的なジオサイト

にかほエリア（元滝伏流水）

遊佐エリア（牛渡川と丸池様）

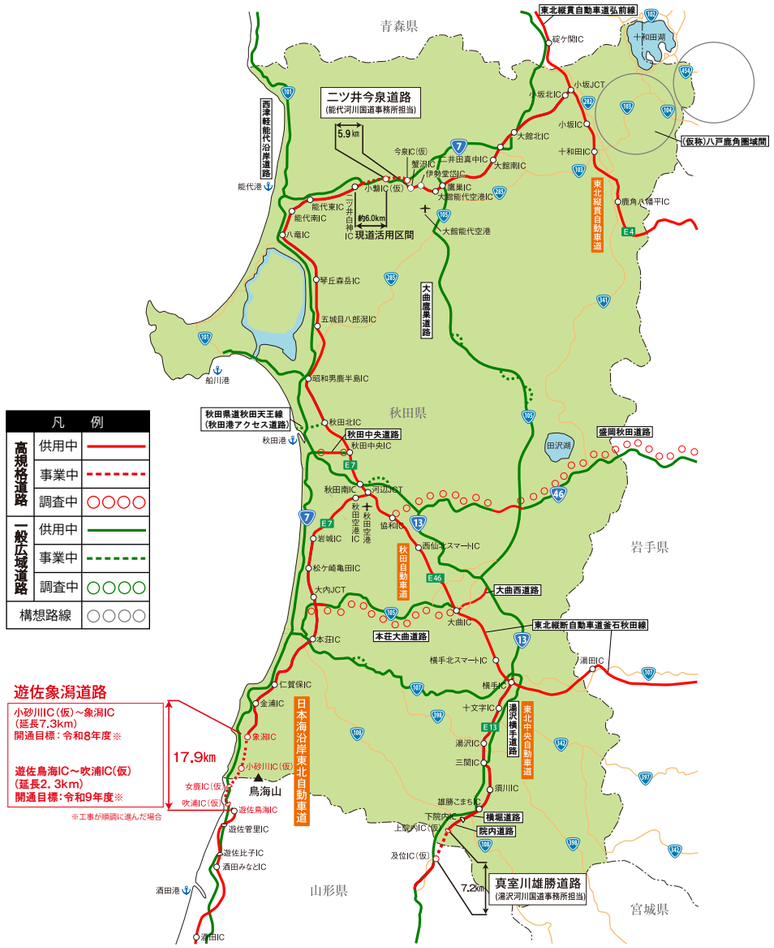
出典：鳥海山・飛島ジオパーク
推進協議会

▼鳥海山・飛島ジオパークジオサイトマップ



●：サイト　□：エリア

秋田県内の広域道路ネットワーク計画図　令和7年12月現在



国土交通省 東北地方整備局
秋田河川国道事務所
〒010-0951 秋田県秋田市山王一丁目10-29
Tel.018-823-4167　Fax.018-864-4425

ホームページ
https://www.thr.mlit.go.jp/akita/

@mlit_akita

日本海沿岸東北自動車道

遊佐象潟道路

国土交通省 東北地方整備局
秋田河川国道事務所

計画概要

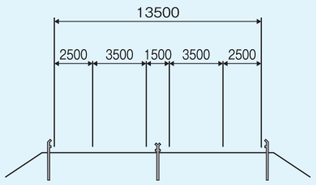
日本海沿岸東北自動車道は、新潟県新潟市を起点として山形県酒田市や秋田県秋田市を経て青森県青森市に至る延長約３２２ｋｍの高速自動車国道です。

遊佐象潟道路は、秋田・山形県境地域の三次救急医療施設への６０分圏カバー率の向上、さらには災害時の代替路確保を図るとともに、高速ネットワークを形成し広域的な交流・連携を図ることを目的とする自動車専用道路です。

事業経緯

［基本計画決定］平成９年２月
［都市計画決定］平成24年７月
［事　業　着　手］平成25年５月
［用　地　着　手］平成28年１月
［工　事　着　手］平成28年10月

標準横断図



計画諸元

［区　　間］起点：山形県飽海郡遊佐町北目
　　終点：秋田県にかほ市象潟町小滝
［延　　長］17.9km（うち秋田県区間9.9km）
［標準幅員］13.5m（２車線）　［構造規格］第１種第３級
［設計速度］80km／h

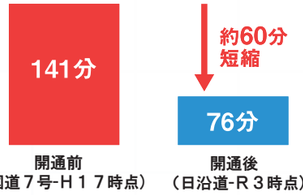
整備効果❶

日沿道の整備により都市間所要時間が短縮

日沿道（象潟～岩城）開通前後で、にかほ市役所象潟庁舎～秋田市役所間の所要時間は約６０分短縮しました。

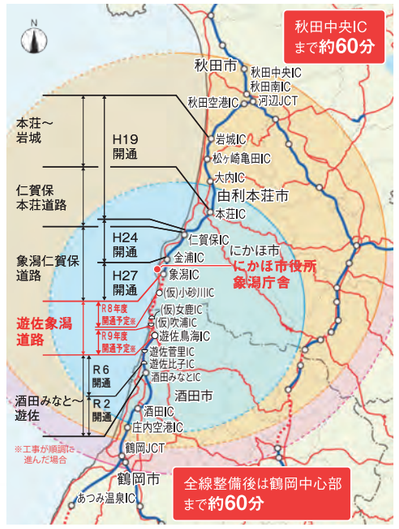
にかほ市役所象潟庁舎からの６０分圏域は高速道路未整備時は秋田市に未到達でしたが、現在は秋田中央ＩＣまで拡大しています。日沿道全線整備後は鶴岡市中心部まで拡大する見込みです。

▼秋田市役所～にかほ市役所象潟庁舎間におけるＨ１７年時点の国道７号ルートとＲ３年時点の日沿道ルートによる所要時間差



出典：開通前-Ｈ１７道路交通センサス、開通後Ｒ３全国道路・街路交通情勢調査（混雑時上下平均速度）

▼にかほ市役所象潟庁舎からの60分圏域の変化



凡例　：H7年末時点　：現況　：将来

出典：Ｈ７年末時点（Ｈ１７道路交通センサス）
　　現況（Ｒ３全国道路・街路交通情勢調査）
　　将来：現況に未開通区間を追加したNW（８０km/hと設定）
※将来における横手方面の拡大は実際の時間圏拡大とは一致しない

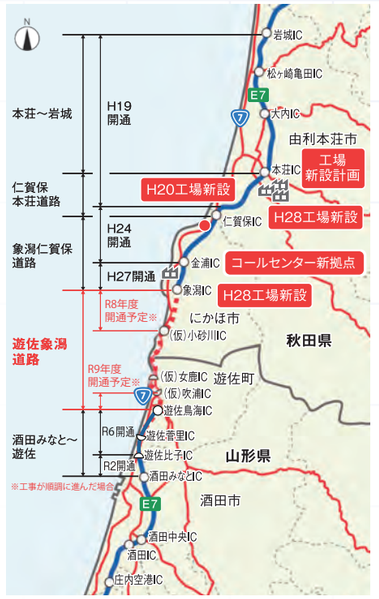
整備効果❷

日沿道の整備による大規模な設備投資の進展

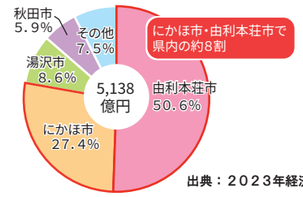
秋田県の電子部品・デバイス・電子回路産業が集積するにかほ・本荘由利地域の出荷額は、県全体の８割以上を占めています。

地元主力企業では、Ｈ２０年、Ｈ２８年に日沿道の整備等を見越して工場を新設しています。

さらに、由利本荘市における工場新設計画を踏まえた住環境の整備計画や、にかほ市における大手コールセンターの仁賀保ＩＣ付近への新拠点建設など、定住化の促進や更なる雇用確保などが期待されます。



▼秋田県市町村別の電子部品・デバイス・電子回路関連製造品出荷額の割合（Ｒ４）



出典：２０２３年経済構造実態調査